

小悪魔ガールのAV電撃参戦!

「こんめむ〜!」



いまやアイドルとしても大人気の登録者37万人越えYo○Tu○erがAVデビュー!
引き締まったクビレに、小ぶりでキュートなお尻。尻尾と翼は生えていませんが、まさに小悪魔といったルックスの彼女が、芸能活動中は抑えていた性的欲求を遂に解放します。これまで決して見ることのできなかった一糸まとわぬ姿、彼女の新しい一面をご覧ください。



CONTENTS

- 1) マイクロピキニでインタビュー
- 2) マイクロピキニでフェラチオごっくん
- 3) マイクロピキニで正常位初中出しSEX
- 4) 後背位中出しSEX
- 5) 電マで潮吹き体験
- 6) お風呂でハイズリ顔射
- 7) 3Pダブルフェラ初体験
- 8) 3P中出し孕ませSEX

だ、ダメだよお、赤ちゃんデキちゃうからあ!

GS
glam sight

いまや
アイドルでも
お馴染みの
あの有名
Yo○Tu○erが
AV解禁!

本中

いまやアイドルでもお馴染みのあの有名Yo○Tu○erがAV解禁!

105
minutes

税込価格
¥800
OSH-02

GS
glam sight

企画 GRAM サイト
制作 https://www.glamsight.jp/
JPG・PDF | COLOR | 2400x1800px
OS-002 | 105min | 800YEN



●このCG集は18歳未満への販売・貸し出しを禁じます。
●このCG集の無断複製、及びネット上へのUPは禁止します。
●この作品には18歳未満の人物は出演していません。

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の購入・閲覧禁止



有名
本物芸能人
AV解禁!
初中出し!



いまやアイドルでもお馴染みの
あの有名Yo○Tu○erがAV解禁！



それでは、挨拶をお願いします。

「みなさん、こんめむ〜!!
MEMちよだよー!! いえーい!!」

アハハ



いえーいW

ということで、本物芸能人MEMちよが
AVデビューというんです。

「今日はよろしくお願いします」



これは聞いてもいいかわからないんですが、
何故AVデビューを(ド直球)？

「あー、夢だったアイドルデビューも
果たせましたし、あとは若いときに
稼げるだけ稼いごころかなって。
うちは母子家庭で、親に楽をさせて
あげたいっていうのもあります」



アイドルはともかく、YOOOTuberとて
十分稼げてそうですけど。

「いやまあトップは桁違いですけど、
中堅どころとなると今そんなには稼げないですよ。
最近はVTuberとかのが全然稼げてますし。
それに、生涯できる仕事ってわけでもないですから」



色く昔男があるんですね。

「世知辛い世の中です、はい」



あはっ

「えっと、あんまり経験はありませんが、
頑張ります!」

それじゃあまあ、最後に本日の意気込みを。

「それじゃあまずは啜えてもらおうか」
「は、はい……はむ」

はむ



「んぢゅ、ぢゅ、ぢゅるる、ちゅぶぶ……んぷう」

「いいねー。そう、裏筋を丹念に舌で舐めて」

んぢゅ

んぢゅ



「ちゅぶ、ちゅぶ、ちゅぶ……んー」

「あっ、ああ、イク……うっうっ！」

グ
グ
グ



ゴク
グ
ン

「んっ。んん……………」

「ういねー。その#おい」っくんとしゅんが

「んっ……………」
「クン」





「どうだった？」

初めてのザーメンの味は」

「えっと、あんまり美味しくはない、です」

「あはは、正直だねー。それよりほら、見て。
出したばかりなのに、まだ硬いままなんだけど」

「う、うわゝ、本当だあ」

「続いてこいつをMEMちよのおまんこに
入れちゃうわけだけど」

「は、入るかな〜？」



「えと、あの、ゴムは……
しないんですか？」

「うちの会社は基本生だから。
大丈夫大丈夫」

「えっ、ええ〜〜？」

「ズレ」





104211

104211

「……うっ、気持ちいい。
MEMちよはごっつ、気持ちいい?」
「ん、んん〜気持ち……いい、
です」

104211

「どこに何が入って気持ちいいのか、
回ら出して言ってくれろ?」

「えっ、ええ?」

「……あ、あのお、おまんこに

おちんちんが出たり入ったりして、
気持ちいいです」

「いいね。興奮してきた。

このまま膣内に出していい?」

10
4
2
11

10
4
2
11



「中？」

「そう、中出し」

「だ、ダメだよお、

赤ちゃんデキちゃうからあ」

「大丈夫大丈夫。

あとでアフターピル渡すから。

てかもう、イク！」

「ダメダメ中は……んっっ！」

んっ

ト
ト
ト
ト
ト



「ふう……ふう」

「な、膣内はダメだって
言ったのにい」

「ゴメンゴメン。」

でも気持ちよかったでしょ？」

「それはまあ……って、
理由になってなくない？」

トクッ
トクッ

んっ





「まあまあ」

「はあ……って、ちよっども」

「ちよっ……こんなもの
恥ずかしいってえ」

「いいからいいから。
ほら、画面の向う側の
皆さんにアピールして」

「ゴッ」



「えっ、えっ？

えーっと、み、みなさーん、

いっぱい又キ又キできたかな？

続けてもっとエッチなの

頑張ってお見せするんで、

期待しててね♡」

ハッ

「というわけで、水着を脱いで
このまま二回戦はじめるーす」

「あはは……」

んんん



「では、二回戦への意気込みを」

「あつ、えーっと、頑張ります」

アハ



ズニャ

「背後からするのってなんか
交尾って感じるよね」

「じゅび……てえ」

「MEMちよって何か猫っぽいし。
ほら、にゃーって言うて、
にゃーって」

「にゃん、にゃあ〜っ！」

にゃん

にゃん

にゃん

にゃん

「あー、いい。」

「このまままた膣内に出すよ?」

「でもでも、やっぱり外に出して欲しいならなんて……」

10
ン

10
ン

10
ン

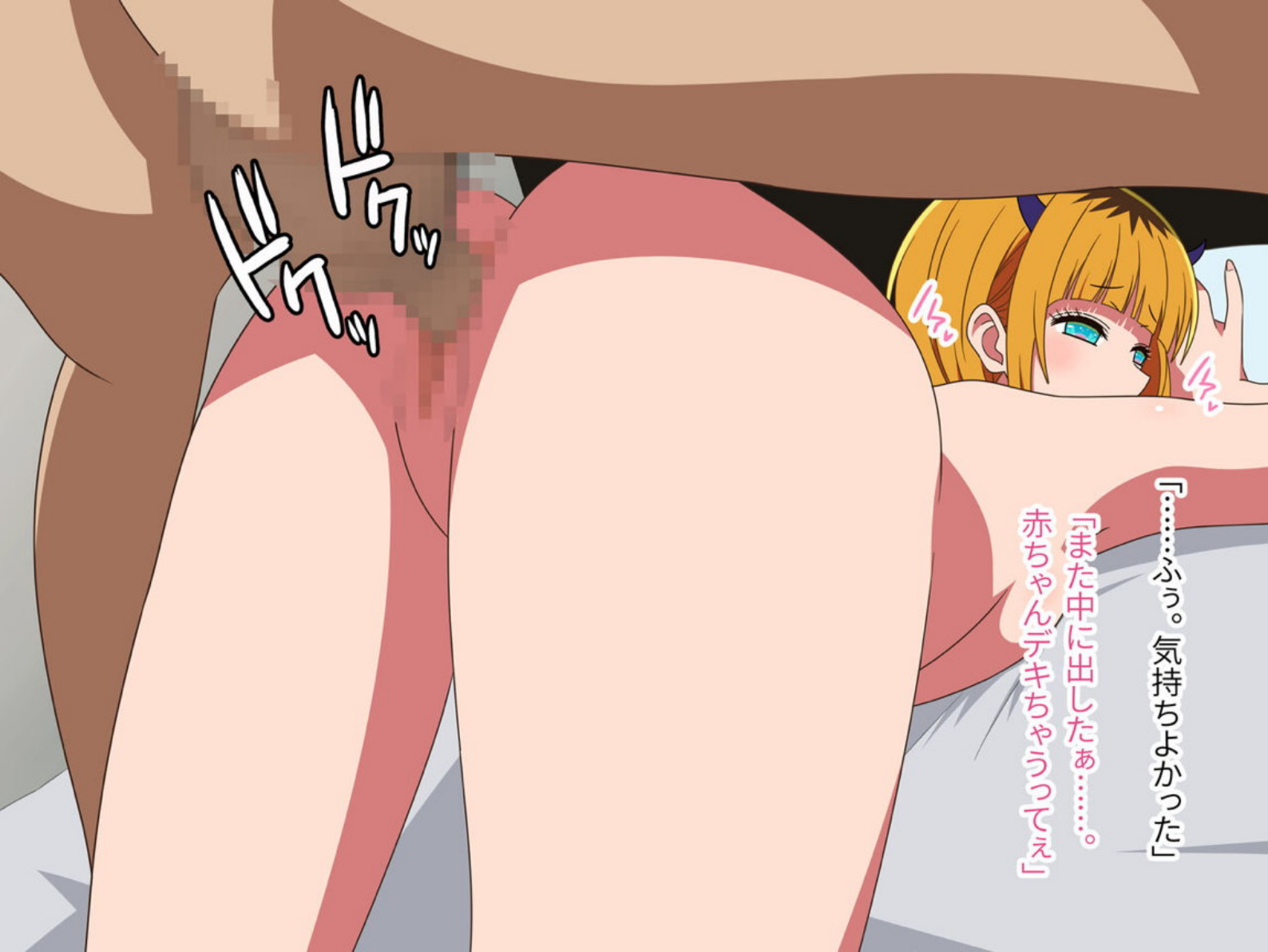
10
ン

ズ
ズ
ズ

「二度出しちまえば二度も二度も
同じだろ！」

MEMちよ、膣内に出すぞ！」

「ふにゃあああああああ！」



「……ふう。気持ちよかった」

「また中に出したあ……。」

「赤ちゃんデキちゃうってえ」



「はあ、はあ……ふえ？
それは……？」

「いやあ、俺だけイッちゃって。
MEMちよの方は物足りないかなって」



ググググ

「んんんんッー?」

「んん、気持ちさらさら〜」

「ちよっ、止めて止めて!」

「んじやあああ~~~~」

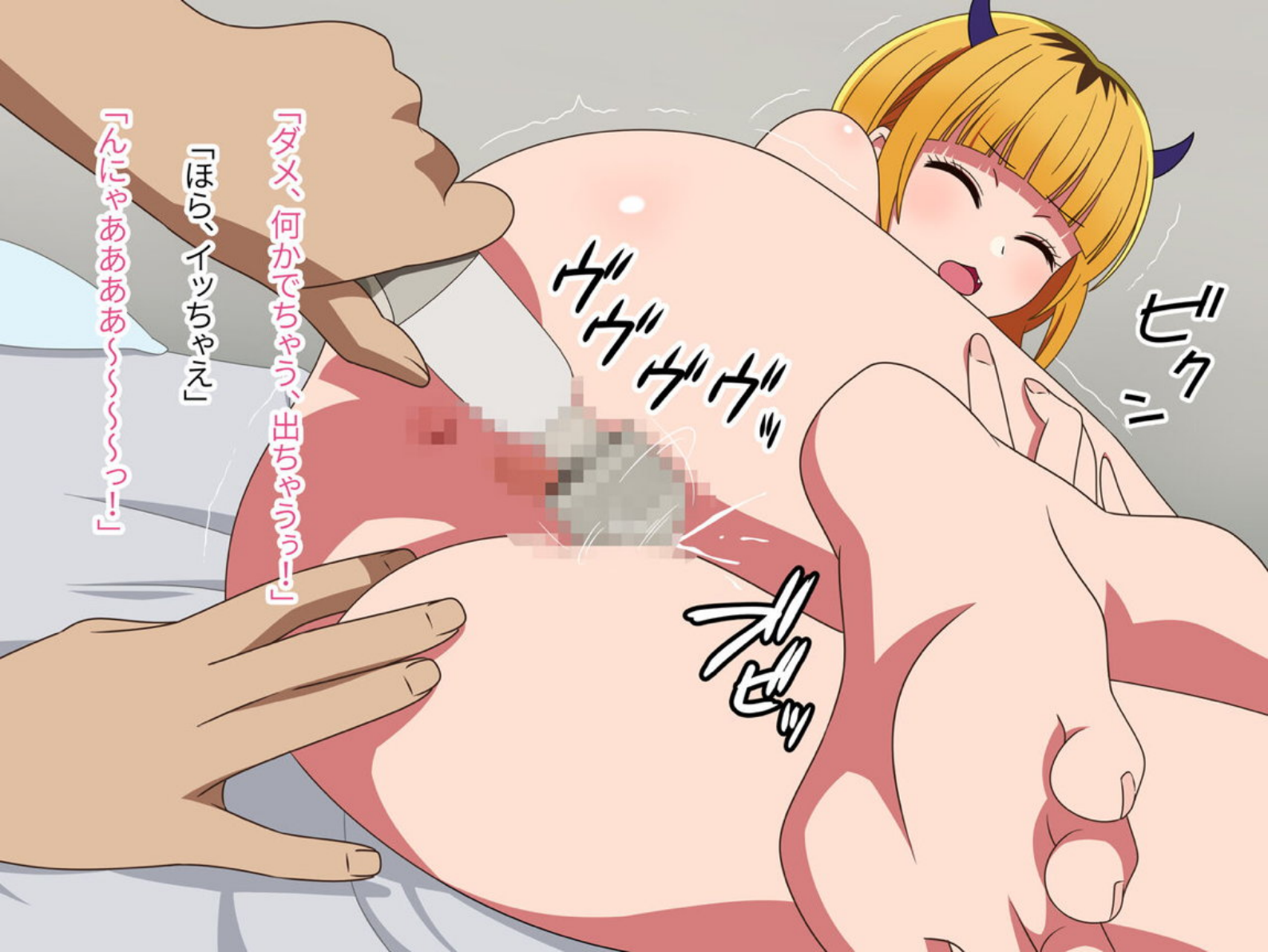
「ほひ、イッちゃえ」

「ダメ、何かでちゃう、出ちゃうっ」

グググググ

ググ

ググ





「はあ、はあ、はあ、はあ……」

「ふう。じゃあちよっと休憩で、
お風呂で汗を流そうか」

「は、はひら」

「……私、そんなに胸大きな方ではない
ですけど、これって気持ちいいんです？」

「いやいや、十分気持ちいいよ。
初めてとは思えないほど上手」

ムニッ



「そっかー、ならよかった。
……んっしょ、んっしょ」

「本当に上手いよ。
だてに歳はとってな……」

「玉、潰しますよっ。」



「あはは、ゴメンゴメン。」

「……とうか、もうイッちゃいそう
なんだけど。」

「このまま顔に出してもいい？」

「ぶっぞー」



「うー」

「あはっ、いっぱい出ましたねー。
うまくできたなら良かったー」

ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ





オ
ッ

ん
ん
ん

「ほり、そっちの唾をあげて」

「んんんんん」

「さて、最後は3Pとしようか」

ぐわんぐわん

ニッコニコ

「ああ、うんうん。
あのMEMちゃんにしゃぶってもらえるとか、
マジで最高」

「うんうん、めんどくさい」

「うちの手もちゃんと動かしてね」



Handover

ニム
ニム

「さん、ちゅぽん、ちゅぽん」

「うん、うん、うん。Hロー、Hロー」



ニャニャ

「あー、ヤバい。もうイクっす。
MEMちよ、MEMちよおー!」

「んふう、んぞ、ぢゅぶぶぶぶぶぶっ!」

「あっ、俺もイク!」



オ
ビ
コ
ル
ル
ッ

「やべー、腰抜けそう」

「んふう、んん……………」

「いやー、よかったよ。
ファンのみんなも喜んでくれること
間違いなし」



「つかもう、俺我慢できねーんすけど！
MEMちょ、MEMちょのおまんこお！」

「ざっきから思ってたけど、
この人大丈夫なんですかあ!?!」

「いやー。彼、MEMちょのファンなんだよね。
今日はどうしてもっていうから連れてきたんだけど」

ミッ
ミッ



「孕ませる！」

俺が絶対MEMちょを孕ませるからね！」

「こんなこと言ってますけどぉ!?!」

「大丈夫大丈夫。あとでピル渡すって」

ミッ
ミッ



「アフターピルは全部捨てたから！
MEMちよ、俺の子孕んで！」

「ちよお、嘘、嘘ですよね？」

「あー。ピルがないんじゃないあ
俺の子孕んじゃないかもなあ」

「ええー!?!」





「あー、イク!
MEMちよ、孕め!」

「ふにゃあああああ〜んっ!」

おっ

せゅるるっ

「はあ、はあ、はあ、はあ……
おまんこの奥にいっぱい出てるう」

「いやまあ、本当に妊娠したら
連絡しようだよ。
ボテ腹セックスもウケいいからさ」

んん

んん



「……て感じで、アイドルとして
人気が出なければそーういった感じに
落ち着くと思ってたからねえ」





「お前も大概エグい妄想してるのな」

「違うよアクたん。女は現実的なんだよ」

「ぶっでもいっけど、ルビーには
その妄想絶対回にするなよ?」

「わかってるって。」

流石の私でもルビーにドン
引きされるのわかってるから」

「お兄ちゃん、MEMちゃん、
何話してんの?」



「なつ、なんでもないよー？
そ、それじゃあ私行くねー！」

「お前は気にしなくてもいい
ことだから」

「？」

？



